

## 水と緑のフェスティバル

### 第33回ファミリーハゼ釣り大会

四国三郎こと吉野川で開催される

2015.10.11

平成27年10月11日(日)「第33回ファミリーハゼ釣り大会」が、徳島市、徳島市水と緑の推進協議会、四国の川を考える会、徳島県釣連盟、(公)日本釣振興会徳島支部、の共催、(一社)四国クリエイト協会の協賛、国土交通省徳島河川国道事務所、徳島県釣具商組合、徳島新聞社、四国放送NHK徳島放送局の後援により、予定変更もなく、無事盛大に開催されました。

吉野川河口から名田橋までの一帯で、ハゼ釣りを楽しみながら、「四国三郎」と呼ばれる、日本三大暴れ川であるが、徳島に肥沃で広大な吉野川平野を提供し、美しく雄大な川で遊び親しみながら、美しい景色と自然環境をいつまでも、みんなで守っていく心を持ってもらう狙いで今年で33年間連続で中止もなく、盛大な大会の開催となりました。

広い河原ですが、やはりトイレの問題も生じるので、6年前から男女別に簡易トイレを設置し、今年もきれいな男女別のステッカーを貼り準備万端で不安要素も解決です。

この日の朝の気温は17度であったが終日曇天で、気温以上に寒く感じた。小さいお子さんが竿を振るのにも支障はない、いわば釣日和であった。

受付開始の8時ごろは混雑することなくスムーズに行えたが、時間が経つにつれ列ができるようみなった。今日は大潮の為朝一の時間帯が一番釣果は上がるので、潮が引いてから受付された方は不利なようでした。

顔馴染みになったおばあちゃんや少年たちをはじめ、県内外の各地から家族連れを始め、小・中・高校生のグループ、一般の釣り人が大勢押し寄せて、午前10時過ぎまでに、高校生以上の男性156名、女性・少年203名と、去年より143名多い359名を数えた、毎年参加者が減少する中、今年は市内の全小学校にポスターを配布し、広報に力入れたのが、良かったようだ。この大会から、初めて日釣振主催で「釣り教室」が同時開催され、救命胴衣、釣道具一式を身に着け釣師に変身し、それぞれ周辺の川べりでハゼ釣りを楽しんだ。

総勢359名の方が受付を済ませ、思い思いの釣り場へ散開していきました。

全体を見渡すと今日は、例年のように早朝の寒風に身震いして、防寒服を着ることなく、朝から冷たい東風はあるが、、子供から高齢者までそれなりの軽装で活発に釣りに専念し、楽しんでもらえました。

釣果の方は、大潮で7時頃満潮なので、満潮から干潮に向かう潮により水面は下降してるが、受付場周辺では、小型が多く15cmまでのハゼが面白いほど、一投一投釣れている場所もあった。

それでも、ときおり深みとか潮筋では良型ハゼが釣れ続き、なかには、市販の3本針に小型だが2匹、3匹とぶら下がった釣果を見せ合い、歓声を上げる女性や少年たち、魚の針はずし、あるいは根がかりした仕掛けを切ったり、新しい仕掛け作りに苦戦する父親、釣りをそっちのけで雑談しながら

ゴミ拾いに精を出したり、遊山気分で弁当やおやつを食べている、子供連れや女性に高齢者の方々、足場のよい河川敷と雄大な自然の景色、ファミリーハゼ釣り大会ならではの光景が微笑ましく感じました。多くの釣果の中から良型ばかり選りすぐって、規定の10匹を計量した結果、上位入賞は次の皆さんです。

数字はハゼ10匹の重量で単位はgです。

◎ ファミリーの部

- 1位 中村 七海 (藍住町) 525g
- 2位 濱田 芽依 (高松市) 525g
- 3位 宮脇 勇希 (鳴門市) 500g

◎ 一般の部

- 1位 野谷 祐介 (小松島市) 405g
- 2位 古川 守 (鳴門市) 405g
- 3位 濱田 有記 (徳島市) 380g

◎ 女性・少年の部

- 1位 笠井 ひゆうが(石井町) 470g
- 2位 桐本 千春 (徳島市) 420g
- 3位 松本 滉大 (徳島市) 390g

表彰式では、徳島市長代理はじめ、各団体の代表者から挨拶があり、各部門の優勝～3位までに賞状  
賞品・参加賞、ファミリーの部は10位まで賞品と参加賞。一般の部、女性・少年の部は、吉野川治水130年賞、  
ハゼ釣り大会33回賞として賞品と参加賞、そして全員に参加賞が渡され、先に軍手とゴミ袋を渡して、  
ゴミを拾ってくれた人には、クリーン賞として、台所洗剤が渡されました。  
徳島市水と緑の推進協議会からは、家庭で美しく咲かせと、たくさんの花の種を全員に配布してくれました。  
今後も、心の洗濯として益々自然に親しみ、水に触れ、川に親しみながら、治水にも関心を持っていただき、  
自然環境を守りながら、より多くの人々が楽しく参加できるようにしたいものです。

# 第33回 水と緑のフェスティバル ファミリーハゼ釣り大会レポート



## 釣り教室同時開催!!

10月11日(日)、恒例のファミリーハゼ釣り大会が行われた。このところ朝方は冷え込む日が増えてきて、この日の朝の気温は17度であったが終日曇天で、気温以上に寒く感じた。ただ風はほとんどなく、小さいお子さんが竿を振るのにも支障はない、いわば釣り日和であった。

受付開始の8時ごろは混雑することなくスムーズに行えたが、時間が経つにつれ列ができるようになった。今日は大潮のためこの時間帯が一番釣果は上がるので、潮が引いてから受付された方はどうも不利なようだ。朝は忙しいお母さんにとってはそれも仕方ないことか。参加者は359名を数えた。以前よりは少し減少したが、まずまずだろうか。

この大会から、初めて日釣振主催で「釣り教室」が同時に開催された。釣り道具一式を身につけ一人前の釣り師に変身、それぞれ周辺の川べりで、ハゼよらい、と



仕掛けを投げる。しかし自分の予想とはうらはらにうまく投げられない。教える方も、エサの付け方、投げ方と大忙し。しかし子供さんは、思った以上に吸収が早い。1時間もすれば自分でハゼを釣り上げて満面の笑み、この豊かな自然の中で、生き物の感触を体感できたことは良い思い出になることだろう。ぜひ今後釣りにも興味を持ち続けてほしいものだ。

計量に持ち込まれたハゼは小さいものから良型までとりどり、中には良型ばかり10匹揃えたファミリーが何組かいた。下見をして良いポイントを見つけているようだった。

それぞれの部門別に表彰を受けたその時にも、皆さんの表情がひじょうに印象的だった。特別賞として第33回にちなみ33位と、吉野川治水130周年を記念して130位が表彰された。惜しくも入賞できなかったファミリーもまた来年も参加をお待ちしています。  
(長久)





(ファミリーの部)

1位	中村 七海 (藍住町)	525
2位	濱田 芽依 (高松市)	525
3位	宮脇 勇希 (鳴門市)	500

(一般の部)

1位	野谷 祐介 (小松島市)	405
2位	古川 守 (徳島市)	405
3位	濱田 有記 (徳島市)	380

(女性・少年の部)

1位	笠井 ひゆうが (石井町)	470
2位	桐本 千春 (徳島市)	420
3位	松本 滉大 (徳島市)	390

◎ハゼ10匹の重量、単位はグラム

